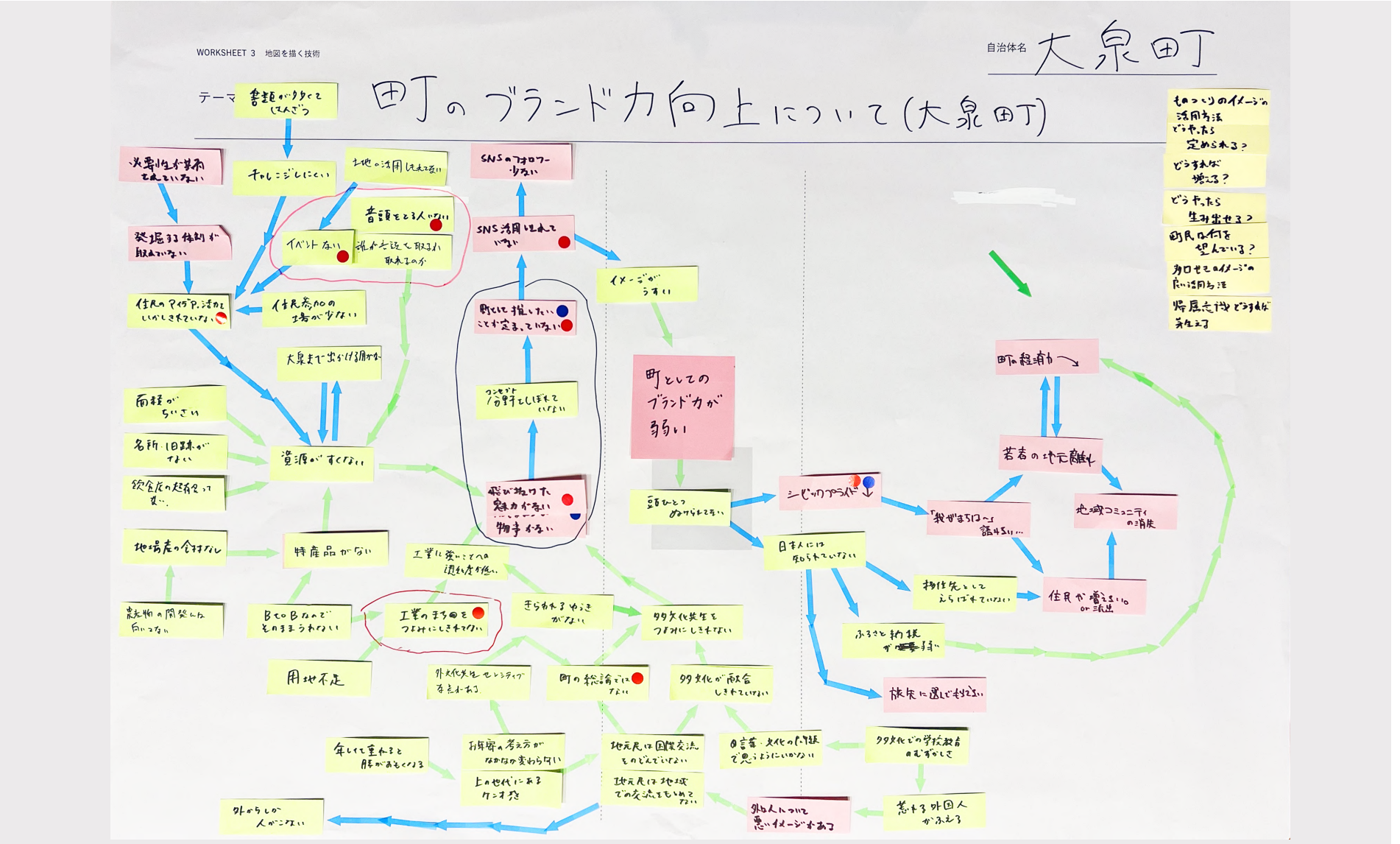
話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

町のブランド力向上について	自治体名 大泉町

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 町の課題解決に向けて音頭をとるひとがいない

町への関わりが少ない居住者が
町の課題を他人事とせず、
自分ごととして考えることで
バラバラの町がひとつになるために、
何が可能か？

2 工業のまちを強みにしきれていない

資源が少ない大泉町が工業のまち
としての特徴を武器に PR していくことで
他の町のひとが行きたいと思える
街にするために、何が可能か？

3 町として飛び抜けた魅力がなく、推したい分野が定まっていない

町内に複数ある事業者が
同じ方向性を持って
町を PR するための資源を生み出すために、
何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

Wandering Oizmi	SNS 上で外国籍の住民の方に自身の目線でみた町の魅力を発信してもらう。
町の好きなトコ教えてプロジェクト	様々なイベントを開催する際、各会場などで参加者に町の魅力を調査する。
工業の魅力が詰まったふるさと納税返礼品づくり	工場で出た廃材を活用するなど、新たな工業系返礼品を開発する。
小学校の社会科授業で活用する副読本の制作	ものづくりの町として発展を遂げてきた大泉町の工業についての副読本を編纂する。学校の先生が主体となって事業者を取材するなど。
住民活動のフォーマットとしてのイベント開催	町が定期イベントのフォーマットをつくり、町民主体で開催することで、まちづくりに想いを持っている人の発掘・支援を行う。

FUTURE